



松北だより「笑顔」

第19号 令和6年 1月 25日(木)

◆ 学校教育目標

豊かな人間性と健やかな体を持ち、
新しい時代をたくましく生きる子どもの育成

北九州市立松ヶ江北小学校

校長 上 満 佳 子

電 話 481-0614

暴風雪による被害等、ありませんでしたか。

24日(水)は、登校時間の変更を知らせたあと休校措置となり、朝のお忙しい時間、混乱させて迷惑をおかけしました。校区内の学校周辺でも、かなり交通事故があり救急車のサイレンがかなり鳴り響いていましたので、子ども達の安全を第一に考え休校にしました。畑の交差点も、アイスバーン状態で、危険でした。幹線道路の通行止めや事故による渋滞等で、保護者の方も大変だったのではないのでしょうか。被害等、ありませんでしたか。学校の施設は大丈夫でした。運動場やそれにつながる道は一面真っ白で、子ども達が登校してきていたら大喜びだっただろうな、と思いました。

このようなことを経験すると、この寒さの折、地震があった石川県付近の避難を余儀なくされている方々の苦しさを想像しました。そして、一日も早い復興を願うとともに、災害に対する日ごろの備えの大切さを痛感しました。



夢授業 6年生

17日(水)6年生対象に、キャリア教育の一環で夢授業が行われました。紙器製造・マーケティング・海洋測量調査、海洋土木工事・海洋保安庁・警察官・金融機関・消防士・陸上自衛官という8業種の方々が体育館に集まってくださり、6年生に、楽しく熱心に、自分の仕事について語ってくれました。子ども達は、その方々の話から、仕事のやりがいや働く喜びや楽しさを、感じたようでした。子ども達は、本当に地域の宝です。まだまだしっかりとした夢をもっていない子ども達も当然います。これから自分の夢を見つけていく時に、集まってくださった方々の熱のこもった話を思い出してくれるとうれしいです。これからも将来への夢や希望をもって歩みを進めていってくださることを願っています。

参加してくださった関係機関の皆様や主催者の皆様にも厚くお礼申し上げます。



すやっきー作りに挑戦! 5年生

松北市民センターからのお便り「松ヶ江北」に時々掲載されている『すやっきー』。そのすやっきー作りを松ヶ江北市民センターで体験させていただきました。牡蠣殻を細かく砕いて粘土状にして丸めるという工程を、丁寧に地域の古田さんに教えていただきました。5年生のために準備もたくさんして下さっていたおかげで、5年生はたくさん活動することができました。懐かしい泥団子作りに夢中になっていました。

すやっきーの効果は、昨年度の5年生、現6年生がリーフレットで知らせていましたが、そのことを受け継いで5年生が新たな疑問をもち課題追及しています。地域の小牟田館長をはじめ、大崎さん、古田さん、松ヶ江北市民センターの職員の皆様のお力を借りることができ、ありがたいと思います。

